

## 令和7年度 地域と学校の未来創造ミーティング（北諸県地区）

### 【本日の日程】

		13:30		13:45				14:55				16:00	
13:10		13:35				14:45						15:55	
	受 付	開 会	説 明	講 話			休 息	対 話			開 会		

- |  |
|--|
| (1) 開会   |
| (2) 説明「未来につながる地域づくり・学校づくり」<br>宮崎県教育庁 生涯学習課               |
| (3) 講話「地域と学校の連携・協働について」<br>特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表理事 竹原 和泉氏 |
| (4) 対話（グループ協議）「幸せな地域と学校の未来づくり　今、私たちにできること」               |
| (5) 閉会 ※アンケート  |

# Memo

【アンケート】

アンケートへの御協力をお願いいたします。  
スマートフォン等を活用し、右の二次元コードを  
読み取って、御回答ください。



幸せな地域と学校の未来づくり 今、私にできること

テーマ「ふるさとを好きになる子どもを育てるために」



『対話』のルール

主語は「私」 当事者意識をもとう！ 他者依存的にならないように！

他者の意見を尊重する（頷く・はへほ・深掘り）

【第1部】ふるさとへの思いを語り合おう

- 「自分が子どもの頃に好きだったふるさとの風景・人・行事」は？
- 子どもたちにどんなふるさと体験をしてほしい？

【第2部】学校と地域のつながりを考えよう

- 「今の子どもたちはふるさとをどう感じているか」を話し合おう。
- 学校や地域の中で、ふるさとへの愛着を育むためにできることは？

- ◆ 地域の人との交流
- ◆ 地域行事への参加
- ◆ 地元の自然・歴史・文化を学ぶ機会

※ 補助資料を参考に

【第3部】熟議の場づくりについて考えよう

- 学校運営協議会でこうしたテーマを扱うにはどうすればよいか話し合おう。
- 対話の場をどう設計すれば、地域の多様な声を引き出せるか？



【まとめ】振り返ってみましょう

- 今日の対話を通して得た気づきや感想を共有しましょう
- 「自校・地域でまずやってみたいこと」を一人ずつ発表してみましょう

## ふるさと（地域のこと）が好きになる子ども

ふるさとを好きになることは、  
自分を好きになること、自己肯定感の土台を育てること

### 【 ふるさとへの愛着を育てる鍵は「人との関わり」 】

- 繰り返しの人との交流（挨拶、会話、世間話、地域活動など）
- 地域の人々との共通体験（祭り、農業体験、郷土料理づくりなど）
- 地域の人からの温かい働きかけ（声かけ、教え、協力など）

### 【 地域と子どもをつなぐきっかけづくり 】

- 今日からできる小さな一歩を
- その小さな一歩が子どもや地域の未来をつくる

### 【 地域全体で子どもの心を育てる 】

- 学校×地域×家庭の連携で“ふるさと愛”を持続可能に
- 子ども達の好きな風景や残したい思い出を地域全体で考える

場面	テーマ及び取組例
学校	<b>「教室を飛び出して地域へ」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域学習（探求学習）や体験活動を効果的に取り入れる</li> <li>○ 方言（言語文化）、地域の歴史・文化などを教材に</li> <li>○ 地域行事への参画・貢献（帰属意識・自己肯定感）</li> </ul>
家庭	<b>「家庭こそふるさとの原点」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食卓での地元食材を使った料理・親子の団らん</li> <li>○ 自然散歩（自然や風景に親しむ）、親の昔話（体験）の共有</li> <li>○ 親の「地元愛」を子どもに感化（親から子への感情のバトン）</li> </ul>
地域	<b>「子どもの心に残る“地域のおせっかい”」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域イベント・ボランティア（帰属意識）、昔話の語り継ぎ</li> <li>○ 子ども・保護者への声かけ、子育て支援など日常的な関わり</li> <li>○ 第三者が子どもに関わることの情緒的な安定（ナナメノ関係）</li> </ul>